

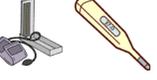
入院診療計画書 「経尿道的膀胱腫瘍切除術を受けられる さんへ」

(病名) 膀胱腫瘍

(症状) 血尿、頻尿など

(説明日) 年 月 日 (ご本人・ご家族)

確認サイン

月日・曜日	経過	手術前日	手術前	手術当日	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3~7日目	退院時
到達目標	手術の必要性が理解でき、心身の準備ができる				術後合併症を起こさない				
治療処置	手術前日までに麻酔科医の診察があります   	15時に下剤を内服していただきます 場合により太ももの除毛を行います。	9時に浣腸をします 回診後、点滴をします 術衣に着替えます	術後は尿の管が入ります 止血剤と抗生剤の点滴を行います 場合により膀胱内の持続洗浄をします			回診時、尿の管を抜きます	退院まで尿をためていただきます	必要時、追加治療を行う場合があります
手術	<input type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (術式:)								
検査	採血、検尿、レントゲン、心電図があります 身長、体重を測ります				血液検査があります				
薬剤服薬指導	日頃から服用している薬のアレルギーがあればお知らせください 服用を中止する薬があればご連絡します	眠れないときは安定剤の内服ができます	血圧や心臓の薬など必要な薬は内服していただきますのでお知らせします		食事開始後から常用薬を再開します	必要時、抗生剤の内服をしていただきます	中止薬を再開する場合はお知らせします		
全身管理症状	体温、脈拍、血圧を測ります 排尿状態をうかがいます		手術前に体温、脈拍、血圧を測ります	手術直後と適宜、体温、脈拍、血圧を測ります 手術部位の痛みや頭痛、吐き気がないかがいます。尿の観察をします	体温、脈拍、血圧を測ります 尿の観察をします 痛みがないかがいます				退院後は以下に注意してください ・血尿や尿の濁り ・排尿時の痛み ・尿が出にくい
食事栄養指導	特別な栄養管理の必要性 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 必要に応じて栄養状態を良くするための支援を行います 普通食あるいは治療食となります	24時以降何も食べられません 飲水はできます 	麻酔科の指示で何も食べたり飲んだりできません	何も食べたり飲んだりできません	腸の動きを確認後飲水できます 朝: 全粥 昼: 常食あるいは治療食となります	朝: 普通食 			
安静度	制限はありません				ベッド上安静です 寝返りはできます	制限はありません			
清潔	入浴できます		浣腸後、シャワー浴をしていただきます		看護師が体を拭き更衣をします	尿の管が抜けたらシャワー浴ができます 			
患者・家族への説明	主治医が入院治療計画や手術について説明します 看護師が病棟を案内し、入院生活について説明をします 検査によっては入院前に行なうことがあります 治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください	手術同意書をお預かりします 手術の必要物品を入院生活について説明をします 手術室看護師が訪問します	手術は()時からの予定です 手術室へは歩いて行きます 	主治医が手術の経過について説明します 	飲水許可後は、麻酔薬を早く体外に出し、尿をきれいにするため水分をたくさん摂ってください		退院に向けての生活指導をします	退院の手続き方法や次回来院日について説明があります 原則として退院は午前中にお願います(土、日は午後からになります)	

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医

印 担当看護師署名

担当者署名